



みなさんこんにちは

ホームページアドレス <http://www.nukushina-e.edu.city.hiroshima.jp>

学校だより冬休み号
平成23年12月22日
広島市立温品小学校

ありがとうございました

いよいよ平成23年も終わろうとしています。今年は、3月11日の東日本大震災というたいへん痛ましい出来事がありました。多くの人たちが、つくづく悲しい思いで心を痛めたことと思います。そして、大人も子どもも命の大切さや人と人とのつながり、絆の大切さについて深く考えさせられました。ここで学んだことや感じたことをいつまでも大切にしたいと思います。

まだ後期の後半を残していますが、これまでの皆様からのご支援・ご協力に、心より感謝いたします。皆様のお陰で、子ども達は、学校で多くのことを学び、楽しく遊ぶことができたように思います。間もなく訪れる新年（平成24年）も、これまで同様のご支援・ご協力をいただきながら、一生懸命に子ども達と向き合い、本校教育を推し進めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

年末・年始は、何かと忙しく、生活リズムが乱れ、体調を崩しやすくなります。健康管理には十分ご注意をされ、来る年が皆様にとって、良い年となりますよう、心より祈念しております。

教職員の異動について

- 12月16日より、1年2組担任、福谷志奈子教諭が産休のため、代員として宮崎望奈央（みやざきみなお）教諭が着任しました。
- 学校支援員・益原浩子、図書臨時事務・柴崎弘美が、12月末で勤務が終了となります。

年越しそばについて

日本全国の多くの地域で、大晦日にそばを食べる風習があります。「年越しそば」とか「大年そば」とか「つごもりそば」とか呼ばれています。年を越す前に食べきり、残すと翌年の金運に恵まれなと言われていて、なぜ、縁起を担いでそばを食べはじめたかという、いろいろな説がありますが、「細く長く遠者に暮らせることを願う。」というのがもっとも一般的なようです。他には、「蕎麦が切れやすいことから、一年間の苦勞を切り捨て翌年に持ち越さないように願った」という説もあります。また、金銀の細工職人が金粉を集めるためにそば粉の団子を使用したことから「金を集める」縁起物ともされている。また、そばの元となるそばの草は、風雨に叩かれてもその後の晴天で日光を浴びると元気になることから縁起を担ぐという人もいます。いずれにせよ、一年を締めくくり、新年を良い年にしたいという人々の願いを表したものです。年越しそばに限らず、大晦日には、一年をふり返り、気持ちを新たに新年を迎える機会が持てるといいですね。【参考：ウィキペディア百科事典】

